

『一般国道455号早坂道路改築事業』

『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』

が全建賞を受賞しました！！

「全建賞」は、建設技術の活用並びに公共事業の進め方やストックの運用の工夫等により、特出した成果の得られた、もしくは、特出した成果を得ようとする事業及び施策を社団法人全日本建設技術協会（全建賞審査委員会）が毎年審査・選考し、これらを実施した機関を表彰するものです。

平成19年度全建賞は、各地方協会より239事業の推薦があり、全国で7部門59事業が選出されました。岩手県からは、道路部門で『一般国道455号早坂道路改築事業』、都市部門で『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』が選出されました。

『一般国道455号早坂道路改築事業』

＜受賞機関：宮古地方振興局 岩泉土木事務所＞



早坂トンネル（盛岡側坑口）

- ◆事業期間／平成10年度～平成19年度
- ◆事業延長／4,170m（幅員9.5m）
- ◆主要構造物／トンネル1箇所 延長3,115m  
橋梁4箇所 全体延長71.4m
- ◆事業費／約9,700百万円

【評価】

トンネルに通常の照明と比べ耐用時間が5倍の無電極放電灯を採用し、維持管理を簡素化。

トンネル坑口にトンネルの湧水を活用したヒートポンプ式消融雪装置を設置し、冬期交通の安全を確保。

（※この事業の詳細は、県土づくりNEWS2007.10月号に掲載しています。）

『都市計画道路毛越寺線志羅山地区街路整備事業』

＜受賞機関：県南広域振興局 一関総合支局土木部＞



街路完成写真

- ◆事業期間／平成8年度～平成19年度
- ◆事業延長／406m（幅員16m）  
車道3m×2、歩道2.5～4.5m（両側）
- ◆事業費／約2,380百万円

【評価】

整備箇所が12世紀の平泉の重要な遺構である東西大路跡と重複することから、「高屋の保存」や「大路後の表現」と連続性を持たせ、世界遺産登録予定地にふさわしい整然とした都市の景観を創出。

（※この事業の詳細は、県土づくりNEWS2007.9月号に掲載しています。）